

第7回南牧村小中学校建設検討委員会 議事録

議 事 日 程

令和7年5月16日（金曜日）午後 7時00分開会

1 開 会

2 会長あいさつ

3 前回会議の振り返り

4 討 議

グループ討議

①小中一貫教育制度の導入について

②建設地の選定について

③意見のまとめ方について

5 その他

（振り返りカード記入）

6 閉 会

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

会議出席者

会長 中嶋光久

委員 吉澤忠彦 委員 高見澤真紀 委員 菊池丈彦 委員 井出けさお

委員 小川武紀 委員 井出 淳一 委員 小池心吾 委員 輿石剛 委員 津金武幸

委員 吉澤政紀 委員 吉澤登見恵 委員 吉澤康代 委員 前田英敬 委員 井出良律

委員 小池孝 委員 吉澤克次 委員 菊池実 委員 渡辺忠一郎 委員 横森康幸

委員 原田雅明 委員 井出さとみ 委員 菊池静香 委員 上村弘幸 委員 金沢貴徳

委員 高見澤みち子 委員 大笥理良 委員 井出 正尚

オブザーバー

事務局職員出席者

教育委員会 教育長 今井力 次長 油井純夫 指導主事 渡邊元子
主幹 吉澤聡子 主事 宮下真依
総務課 課長 津金初男 参事 嶋崎久嗣

開会 午後 7時00分

◎開会の宣告

○油井教育次長 皆様、お疲れさまでございます。定刻となりましたので、ただいまから第7回南牧村小中学校建設検討委員会を開会といたします。

本日の委員会を傍聴される皆様にお伝えいたします。

傍聴される方は、意見を述べることはできません。委員会の録画、録音もできませんので、あらかじめご承知おきを願います。

◎あいさつ

○油井教育次長 それでは、中嶋会長から挨拶をお願いいたします。

○中嶋会長 皆さん、こんばんは。

今日は、昭和22年生まれの野辺山の方から聞いたお話をさせていただきます。

板橋分校、正式には板野分校と言ったようです。板野分校と野辺山分校の統合のお話になります。野辺山分校は、現在の野辺山保育園の奥、国道より下側というのでしょうか、東側のほうにあったそうです。それから、板橋分校は、●●さんのお店、今は営業されておませんが、●●さんのお店の農協の出荷場の近くのほうですね、側のほうにあったということです。今秋になるときれいな形の紅葉がすごく色づく、あの辺りに板橋分校があったということです。当時その方は小学校3年生だったそうです。合併に向け、全校生徒一つの学校には入れなかったのでしょうか、1年生から3年生は野辺山分校へ、4年生から6年生は板橋分校へ分かれて通ったそうです。現在の南小の場所に新校舎として竣工したときに、図書室の重たい本を砂利道の国道を歩いて運んだ、大変だった思い出を教えてくださいました。

実は、この南牧村史に、小学校、中学校の沿革が17ページにわたってまとめられておりま

す。私、これでそのお話を調べてみましたら、確かに昭和32年にこう書かれております。4月2日、統合式、ここに板野新分校が成立すると書かれておりました。たまたまそのあたりを見ていたら、合併した翌々年の昭和34年、台風7号、15号の被害甚大、本校、分校とも応急処置をして授業に支障を来さないようにすると書いてあります。調べたら、台風15号は伊勢湾台風の直撃であるという理解をしました。

中学校では、昭和24年に中学校舎の新築は郡下で一番であるということと併記して、平沢分校新築落成（小学校と同棟）、同じ棟で落成したとあります。その後、昭和36年には平沢分校廃止で本校に統合ということで、平沢中学校は12年間続いたということを知りました。ここにはそれこそかなり古い歴史が書かれております。それから、教員の数、生徒の数、PTA当時の正副会長名などがまとめられており、見返すと南牧の学校の歴史がかいま見れ、とても興味深く感じました。各戸に配布されているものですので、興味のある方はぜひ見ていただければというふうに思います。

私たちは、今この少子高齢化の時代真ただ中におります。今後の学校の在り方につきましては難しい面が多いわけですが、今まで検討委員会で確認できたことをもう一回整理しつつ、将来に向けた望ましい学校の在り方について皆さんの意見をいただきながら、ぜひまとめていきたいというふうに思っておりますので、ご協力をお願いいたしまして私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いします。

○油井教育次長 ありがとうございます。

◎前回会議の振り返り

○油井教育次長 それでは、これより討議に移らせていただきます。

この後の進行を、中嶋会長、よろしくお願いします。

○中嶋会長 それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

第3、前回会議の振り返りを事務局からお願いします。

○吉澤主幹 それでは、振り返りをいたしますが、今回も前方のプロジェクターの表示と資料を併せてさせていただきます。

今回の討議については、3つのことについてグループ討議を行っていただきます。また、説明とグループ討議を1つの項目ごとに区切って行っていただきたいと思います。そして、お手元にお配りしています振り返りカードにご自分の意見の記入をこの場でお願いいたします。

それでは、お手元の資料、1枚おめくりいただきまして、1ページ目、A3縦版資料、前回振り返りカードまとめをご覧ください。

こちらに幾つかご質問、ご指摘をいただいております。そちらについて補足説明をしながら、また、併せて次のページ、2ページ目、A3の横版の評価一覧も併せてご説明いたします。

まず、1ページ目の振り返りカード、下線をつけました。番号1番、5番、6番、12番、15番、16番、多くの方から分らなくなってきた、分からないというようなことを書いていただきました。そこで、いま一度、そもそもこの検討委員会で何を検討するのかをいま一度整理する必要があるというふうに考えました。

前方のスライドをご覧ください。

当委員会は何をする会なのかというところですが、この検討委員会では、村長からのお尋ね書で、今後の南牧村立小・中学校に望まれる教育環境の在り方を尋ねられています。そして、下、要項の抜粋にありますとおり、委員会は南牧村立小・中学校の施設整備等に関し、調査及び検討を行い、意見を述べるとあります。

では、具体的に何について意見を述べるかというところなんですけれども、第1回の検討委員会で検討事案として考えられるものをお示ししています。第1回検討委員会の資料の抜粋になりますが、この1番と2番を当委員会では重点的に討議していただきたいということを確認しています。

1、小中一貫教育制度の導入検討、小中一貫教育の形、学校種、義務教育学校、小中一貫型学校、どういう教育を目指すのか。

2、建設地の選定、どこで実施するのか。分らなくなったという感想をお持ちの委員の皆様におかれましては、前回様々な情報や意見を多く受け止めた会議でしたので、分らなくなったというような感想につながるのではないかと考えました。改めて当委員会での検討事項はこの2点であることを確認させていただきます。

また、当委員会は、この2点について村長に意見を述べます。

では、これまでの検討委員会での討議を整理します。

1、小中一貫教育制度の導入検討ですが、義務教育学校、小中一貫型学校等について、第3回、第4回検討委員会で討議し、総括的評価というものを実施しました。

お手元の資料に戻っていただきたいと思います。

お手元の資料の3ページ目、ここに第4回資料、学校の形態、総括的評価のまとめがあり

ますので、ご覧ください。

このときには、一番下、小・中学校統合について効果が非常に高いというふうに評価されていた委員さんが多く見られ、小・中学校統合についての評価が高いです。このときに、義務教育学校、あるいは施設一体型小中一貫校の種類を問わず評価していただいています。ですので、この小・中学校統合の中に義務教育学校、施設一体型小中一貫校の両方入った形で評価をしていただいています。

次に、お手元に配付しております資料の2ページ目にお戻りください。

こちらが先日の会議でお願いいたしました新しい学校の評価を委員の皆様にしていただくというもののまとめになります。

一番上、①学校の種類というところをご覧ください。義務教育学校の丸が17、施設一体型小中一貫校に丸が8、その他で義務教育学校での小中の教室は分離（中間にコミュニティスペース）、もう一方は、高1ギャップクライシス対策、小6でのリーダーシップ育成などと記載いただいた委員さんがいらっしゃいました。

なお、スライドでここでもた戻っていただきたいんですけども、今回この評価をしていたときに、義務教育学校について比較的丸が多いですが、こちらの出席いただいている委員の一人から、義務教育学校と施設一体型小中一貫校の違いがよく分からないというお声をいただきました。そこで、評価はいただいているんですけども、改めてこの2つについての違いをご説明したいと思っています。

お手元の資料でいうところの4ページ目、A4の縦版の資料になります。

なお、この資料の作成に当たり、委員の一人からChatGPTとの対話をした資料を頂きました。頂いた資料の一部を抜粋しながらこちらの資料を作成いたしました。

では、こちらのA4縦版の違いをご覧ください。

まず、義務教育学校は一つの学校として校長1人、一つの教職員集団として運営されます。小中一貫校は制度上別々の学校です。校長も教職員も別々に配置され、運営されます。カリキュラムは義務教育学校は9年間を一貫したカリキュラムで運営します。小中一貫校は、小中双方のカリキュラムを連携しながら運営いたします。それぞれメリットがありますが、双方に共通して言える配慮が必要な点もあります。

こちらの表の一番下の配慮点をご覧ください。

1つ目のぽつですが、これは義務教育学校のみと言える配慮点です。校長が1人で運営するが、学校運営には中学校的な進路指導、部活動、学力保障等への対応が必要という点です。

次に、2つ目のぽつと3つ目のぽつについては、施設一体型の小中一貫校を今回については想定していますので、義務教育学校、小中一貫校どちらにも言える配慮点になります。

なお、小中一貫教育制度の導入検討について、子供たちの数という要素も大事だと思います。振り返りカードの中に、児童・生徒数の今後の地区別の推移を再度確認したいというご意見もありました。

資料5 ページ目をご覧ください。

これまでの検討委員会でも、子供たちの数についてはお示しはしておりますが、今回新たに令和6年度に生まれた子供たちの数も加わっています。ゼロ歳の欄になります。ここで令和6年度の人数、ご覧いただきますと、北小区が6人、南小区が4人です。野辺山地区でゼロ人ということが、私どもも大変ショッキングな数字であると受け止めています。

では、改めて小中一貫教育制度の導入検討について、ここでグループ討議を一度お願いいたします。

時間が余るようであれば、ご自分のご意見をお手元の振り返りカードにご記入ください。討議終了後、再度記入の時間を取らせていただきます。

なお、今回コーディネーターの方に、委員さんの中で取りまとめた意見を発表することはお願いいたしません。ご自分のお考えを深めていただくため、まず1つ目のグループ討議をお願いいたします。

○中嶋会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から前回の振り返りと一つ目の討議について説明がございました。何かご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

◎討議

○中嶋会長 では、早速討議のほう、入ってまいりたいと思います。一応15分ということで区切っていきたいと思います。7時35分までグループ討議をお願いします。

○吉澤主幹 グループ討議いただきたい内容は、まず1つ目の改めて小中一貫教育制度の導入についての検討をお願いいたします。

(グループ討議)

○中嶋会長 すみません、お待たせしました。時間が過ぎてしまいましたが、ここで一旦締めさせていただきます。

それでは、2つ目の事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○吉澤主幹 では、検討事案の2つ目のことにつきまして、私のほうから先に説明のほうをさせていただきます。

では、次に、2つ目、建設地の選定、どこで実施をするかです。

こちらのスライドのほうをご覧ください。

第4回の資料からの抜粋ですが、ビジョン、地域みんなで育てる、大人も学ぶ共学び、共育ちの村、このビジョンにふさわしい拠点となるような学校、このビジョンにふさわしい場所はどこでしょうか。場所の選定については、第4回、第5回検討委員会において討議をしていただいておりますが、委員の皆さんの討議を進めるために、第5回検討委員会において、これまでの検討委員会の討議を尊重いたしまして、中間報告で出されている2つの工事について、実現性の評価を行いました。再度、お手元の資料2ページ目をご覧ください。

こちら左側が事務局で行った実現性の評価になります。こちらは第5回検討委員会でお示しした資料になります。この評価一覧によって、振り返りカードの番号2番、8番、5番で、委員選出の方法についてや事務局への不信感というものを記載いただいている方がいらっしゃいます。この評価一覧によってこういったご意見を招いたというふうに私どもは考えています。それは、教育委員会事務局が南牧中学校周辺建設地に多く評価をしているということで、あたかも南牧中学校周辺が建設地として決定しているのではないかというような誤解を招いたためだというふうに考えました。

そこで、再度この建設検討委員会で求められていることを確認させていただきます。村の子供たちの望ましい教育環境について、委員の皆さんに意見を出していただくことがこの委員会の役目であるというふうに考えました。そこで、今回の評価一覧の委員の皆さんの結果、右側をご覧くださいながら、再度ご自分の意見を出していただきたいと思います。

評価一覧右側をご覧ください。

上から3番目、自然環境や教育環境として、丸の数、南小学校敷地利用案、南牧中学校敷地利用案が拮抗しています。また、最後の地域拠点の機能についても同様です。それ以外については、おおむね差があります。そして、全体の丸の数が多い項目と拮抗している項目の数の合計が、それぞれ同じになります。

次に、一番重要だと考える事項についての評価をご覧ください。

丸の数が一番多かったのが、自然環境、教育環境です。しかし、2番目、建設費用について、3番目、同じ数の丸がありました。教職員確保について、地域拠点の機能について、こ

ちらを見比べていただきますと、大きな差がありません。地域みんなで育てる大人も学ぶ共
学び、共育ちの村、このビジョンにふさわしい拠点となる学校をどこに建設するのかという
ことに立ち戻り、場所について検討すると、この委員の皆様の評価一覧で示されているよう
に、それぞれに課題があり、また、その課題も克服できる余地があると考えます。また、選
定する決め手となる差があまりないとも思われます。そして、この差がない中で、どの着眼
点にのっとなって決めていくかにしても、一番重要だと思える事項について評価が分かります。
そこで、改めて建設地の選定について、グループの皆さんで討議をお願いします。

先ほどと同様に、時間があればご自身のご意見をお手元の振り返りカードにご記入くださ
い。討議終了後に、再度記入時間を取らせていただきます。コーディネーターの方に取りま
とめた意見を発表することをお願いいたしません。ご自身の考えを深めていただくためにグ
ループ討議をお願いいたします。

○中嶋会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から、前回の振り返りと2つ目の討議について説明がありました。

資料について、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、15分取りたいと思います。8時3分までということで、討議を進めてください。よ
ろしくをお願いします。

(グループ討議)

○中嶋会長 それでは、時間になりましたので、3つ目の事項について事務局から説明をお願
いいたします。

○吉澤主幹 では、3つ目の事項について説明をさせていただきます。

前方のスライドをご覧ください。

最初に確認させていただきました。当委員会は何をする会なのかに立ち戻ります。村長のお
尋ね書について意見を述べます。これまで2つの項目について改めてグループ討議をいた
だき、ご自身のご意見をまとめていただきました。では、委員会として委員の意見をどのよ
うにまとめればいいのでしょうか。たくさん多くのご意見があると思います。これをどうまと
めるのかというのは、また非常に難しい問題です。

そこで、私ども事務局では、まとめ方を幾つか考えてみました。

1つ目は、2つの項目についてご意見を記入いただきました。この意見について、数が多い
意見を採用し、委員会の意見としてまとめる方法です。

2つ目は、比較的多いご意見と少数の意見を両論併記し、委員会の意見とする方法です。

3つ目は、この2つ以外の方法です。

先ほどと同様に、この意見のまとめ方についてグループ討議をお願いいたします。また、ご自身のご意見の記入も併せてお願いいたします。今回もコーディネーターの方に取りまとめた意見を発表することはお願いいたしません。ご自身の考えを深めていただくため、グループ討議をお願いいたします。

○中嶋会長 ありがとうございます。

ただいまの中で、ご質問等はございますでしょうか。

まとめ方についてグループで討議してほしいということでもあります。

よろしいでしょうか。

では、また討議時間、15分取りたいと思います。22分までということで進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(グループ討議)

○中嶋会長 そろそろよろしいでしょうか。

時間になりましたので、討議のほうは終わりたいと思います。

今後の討議につきまして、事務局のほうからご説明のほう、お願いしたいと思います。

○吉澤主幹 委員の皆様には、3つの項目についてご意見を記入いただきます。次回の委員会までにいただいた意見を全て記載したものを、委員の皆様へ送付させていただきます。そして、次回討議では、委員会としての回答案についての討議をしたいと考えています。今回、実は消防の練習ですとか幾つか重なっていて、委員の皆様からやむを得ず欠席するというご連絡を、実は幾つもいただいています。ですので、今回出席いただいていない、欠席されている委員の皆様へ、こちらの資料とスライド、私の今ご説明した口述を併せて郵送いたします。委員の皆様からこの意見、それぞれ委員の皆様個人それぞれのご意見を回収してお手元に一度送付させていただきます。そうした上で、次回は委員会としての回答案について、繰り返しになりますが、討議をいたします。

○中嶋会長 ただいま事務局より説明がございましたが、全体を通して何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

◎その他

○中嶋会長 それでは、引き続き、この場で振り返りカードの記入をお願いしたいと思います。

事務局から説明ありましたとおり、今日いろんな方の意見を聞いていただいて、ご自身なりにどうすることがいいのかというのを書いていただきたいと思います。一番は学校の形、義務教育学校なのか小中一貫校なのか、2番は建設の選定について、それから、3番、当委員会の意見のまとめ方についてと、この3点につきまして、次の会議のたたき台になりますので、ぜひしっかり時間を取って書いていただきたいと思いますので、35分までこの振り返りカード、ご自身の思い、お考えをまとめていただきたいと思います。これが次回の討議の内容に関わってくるので、ぜひご自身の思いをまとめてください。よろしくお願いします。

35分まで10分間取りたいと思います。よろしくお願いします。

(振り返りカード記入)

○中嶋会長 すみません、まだ書かれている方もいらっしゃるようですが、一旦こちらで終了したいと思います。書いている方は引き続き記入いただいて結構です。

以上で本日の討議内容は終了しましたので、進行を事務局へお返しします。ご協力ありがとうございました。

○油井教育次長 ありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご討議をいただきましてありがとうございます。

今回の検討委員会でございますが、2週間後の5月29日木曜日の午後7時から、会場はお配りした次第の下部に、野辺山基幹集落センター大会議室とございますが、もう間もなく中央公民館の改修工事が終わりますので、会場を中央公民館としたいと思います。通知はまた差し上げますので、お間違えのないようにお願いをいたします。

本日ご記入いただきました振り返りカードにつきましては、出口の箱に入れていただきますようよろしくお願いいたします。名札も出口にお返しください。

本日、傍聴に見えられました皆様、今回もまた関心を持ってお集まりをいただきまして大変ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○油井教育次長 これをもちまして、第7回南牧村小中学校建設検討委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした

閉会 午後 8 時 43 分

